

## JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

### ・「JRA-VAN SDK」を入手し JV-Link をインストールする

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成するための開発キットである「JRA-VAN SDK」の入手方法と JV-Link のインストール方法を説明いたします。

#### 【 今回の目標 】

「JRA-VAN SDK」を入手して、JV-Link をインストールする。

#### 【 やってみよう 】

「JRA-VAN Data Lab. サイト」(<http://jra-van.jp/dlb/index.html>)にアクセスし、「ソフト開発コーナー」をクリックします。



#### [ ワンポイントメモ ]

「JRA-VAN Data Lab. サイト」では、Data Lab. サービスに関する様々な情報をご覧いただくことができます。是非、ご一読ください。

「JRA-VAN SDK(開発ツール・データ仕様)提供コーナー」をクリックします。

自分だけのオリジナル競馬ソフトを作ってみよう! **ソフト開発コーナー**

**JRA-VANご登録競馬ソフト作者様 3大特典!!**

- 登録競馬ソフト報奨制度によりソフト開発を支援します。  
(2006年は報奨金総額が年間600万円!)
- ご登録競馬ソフトのご利用者数をオンラインでご案内します。
- 利用者が「1カ月に100人を超える」作者様には「JRA-VAN Data Lab.」利用キーを2つ「JRA-VAN NEXT」の制限解除キーを1つ差し上げます。

※特典についての詳しい説明は[こちら](#)をご覧ください。

» ソフト作者サポートページ  
作者情報変更・ご登録競馬ソフトのご利用者数確認・報奨制度エントリー・獲得報奨金照会などはこちらから。  
※ソフト作者サポートページをご利用になるには、事前に作者登録およびソフト登録が必要です。  
» more...

» ソフト登録の手順  
ソフト開発の方がJRA-VANにソフトを登録するまでの手順を説明いたします。  
» more...

» システム概要  
ここでは、JRA-VAN Data Lab. 対応ソフトとサーバとのインターフェース概要を説明します。  
» more...

» **JRA-VAN SDK (開発ツール・データ仕様) 提供コーナー**  
Data Lab. 対応ソフトを開発する際に必要になる「ソフトウェア開発キット (SDK)」を提供しています。  
» more...

» プログラミングパーツ・開発支援ツール提供コーナー

» 競馬ソフト開発体験教室

「SDK(開発ツール・データ仕様)提供コーナー」が表示されます。

» ソフト作者サポートページ

**SDK (開発ツール・データ仕様) 提供コーナー**

ここでは、JRA-VAN Data Lab. 対応ソフトを開発する際に必要になる「ソフトウェア開発キット (SDK) (Software Development Kit)」を提供します。

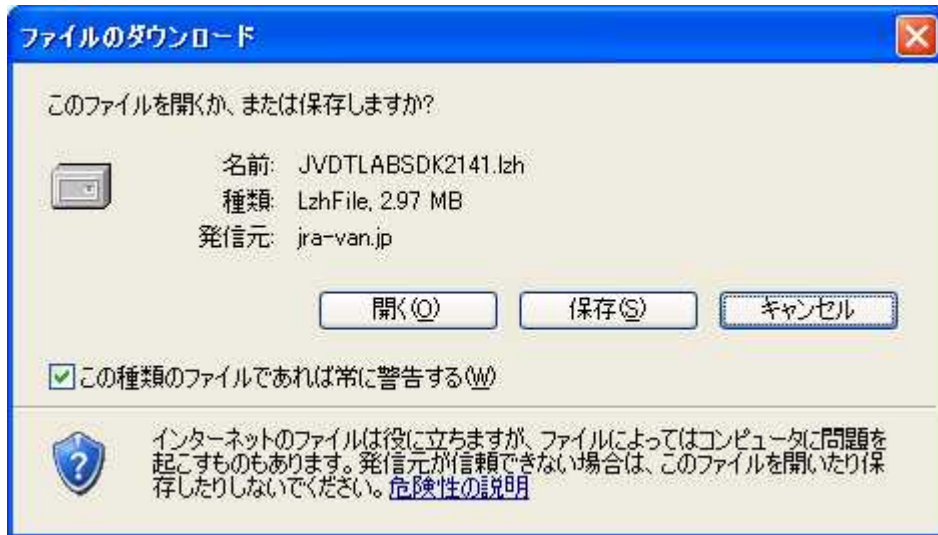
**JRA-VAN SDK**

JRA-VAN SDK 本体 (ダウンロード用)	
	JRA-VAN SDK 本体 (Ver.2.1.4.1) ©2006/6/4

JRA-VAN SDKには以下のものを収録しています。

- ・JV-Link (win/mac版) … サーバ通信モジュール
- ・JV-Data構造体 (C++版、Delphi7版、VB6版、VB.Net版)

「JRA-VAN SDK 本体(Ver x.x.x)」をクリックすると確認のダイアログが表示されるので、「保存」をクリックして JRA-VAN SDK をダウンロードします。

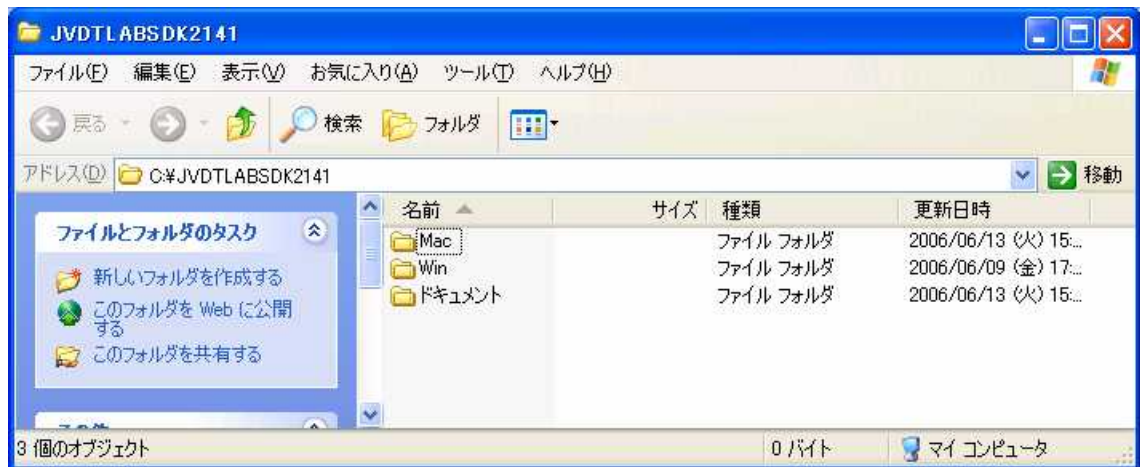


[ ワンポイントメモ ]

JRA-VAN SDK は LZH 形式で圧縮されているので、お使いの解凍ソフトにて解凍してください。

## 【 確認しよう 】

ダウンロードした JRA-VAN SDK を解凍して、内容を確認してみましょう。



- ・ ドキュメントフォルダ内には、JRA-VAN Data Lab.サービスに関する各種ドキュメントが格納されています。
- ・ Mac フォルダ内には、Macintosh 上で開発を行うための開発環境をまとめた圧縮ファイルが格納されています。

次に、Win フォルダ内の内容を確認してみましょう。



ドキュメントフォルダ内には、JV-Link インターフェース仕様書が格納されています。

- ・ サンプルプログラムフォルダ内には、開発環境ごとのサンプルプログラムが格納されています。
- ・ JV-Link フォルダ内には、JV-Link のインストーラーが格納されています。JV-Link のインストール方法については、後でご説明いたします。また、README.TXT も含まれており、JRA-VAN SDK の変更履歴や JV-Link およびサンプルプログラムの使用許諾について記述してありますので、ご一読ください。

- ・ JV-Data 構造体フォルダ内には、JV-Link で取得したデータを JV-Data のフォーマットに則して意味ある区分ごとに区切るための構造体の定義が開発環境ごとに用意されています。

JV-Link フォルダ内の、JV-LinkXXX.EXE をダブルクリックしてインストーラーを起動し、「次へ」ボタンをクリックします。



使用許諾書を読んで「同意する」ボタンをクリックします。



JV-Link のインストール先を指定して「次へ」ボタンをクリックします。



「次へ」ボタンをクリックしてインストールを開始します。



「完了」ボタンをクリックしてインストーラーを終了します。



[ ワンポイントメモ ]

JV-Link をインストールすると、JRA-VAN SDK に同梱されているサンプルプログラムを動かすことができるようになります。ぜひお試しください。

なお、JV-Link を使用するには JV-Link の利用キー(4-4-4-4-1 桁の英数字)が必要となります。JRA-VAN Data Lab. サイト(<http://jra-van.jp/dlb/index.html>)にて Data Lab. 利用権を購入すると、1つの利用権につき2つの利用キーが発行されます。利用キー1つにつき1台のパソコンで Data Lab. サービスをご利用いただくことができます。